

平成29年度
市長懇談会
「庄原いちばん談議」
(しょうばら花会議)

平成29年11月27日(月)
18:00~19:00ゆめさくら

1 開 会

2 あいさつ及び自己紹介

3 意見交換

懇談テーマ：しょうばら花会議の活動について
次の点などを踏まえ、懇談しましょう。

○しょうばら花会議の活動について

資料1、資料2

○今後の活動について

4 閉 会

しよばら花会議の活動報告

平成23年(2011年)～平成27年(2016年)



しよばら花会議

しゅうばら花会議の活動報告(2011年～2016年)

主な活動	活動状況と成果	課題	備考																																																																																						
1 オープンガーデン	<p>《オープンガーデン来訪者数》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>庭数</th> <th>実数</th> <th>実数計</th> <th>経済効果(概算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2011年 春秋</td> <td>11</td> <td>600人</td> <td>4,300人</td> <td>645万円～860万円</td> </tr> <tr> <td>2012年 春秋</td> <td>26</td> <td>4,000人</td> <td>5,900人</td> <td>885万円～1,180万円</td> </tr> <tr> <td>2013年 春秋</td> <td>30</td> <td>7,600人</td> <td>10,200人</td> <td>1,530万円～2,040万円</td> </tr> <tr> <td>2014年 春秋</td> <td>34</td> <td>7,000人</td> <td>11,000人</td> <td>1,650万円～2,200万円</td> </tr> <tr> <td>2015年 春秋</td> <td>38</td> <td>7,400人</td> <td>11,800人</td> <td>1,770万円～2,360万円</td> </tr> <tr> <td>2016年 春秋</td> <td>33</td> <td>7,500人</td> <td>10,750人</td> <td>1,610万円～2,150万円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>22</td> <td>3,250人</td> <td>53,950人</td> <td>8,090万円～10,790万円</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 経済効果は、指数1,500円～2,000円として計算 ※ 来訪者の声(アンケート)～末尾添付資料参照</p> <p>《実施回数・実施人数》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2011</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>花会議</td> </tr> <tr> <td>2012</td> <td>1</td> <td>54</td> <td>市の助成金</td> </tr> <tr> <td>2013</td> <td>12</td> <td>307</td> <td>市の助成金</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>16</td> <td>390</td> <td>市の助成金</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>15</td> <td>383</td> <td>市の助成金</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>14</td> <td>369</td> <td>市の助成金</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>58</td> <td>1503</td> <td>市の助成金</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 教員委員会に実施案内を通知し希望のあった学校に出張講習</p> <p>《成果》 当市のオープンガーデンは、来園者、関係者、インターネット情報の声として今や全国的に知られるようになった。ハズツアーも増えてきた。まちの活性化の大きなきっかけとなった。「花のまち庄原」のイメージづくりにも努めているが、丘陵公園の存在と相まって年々高まってきている。経済効果も市からの助成金に比較評価できるものと思われる。</p>  <p>《成果》 寄せ植え教室の講師、スタッフには相当の時間的、体力的な負担がある。しかし、子どもも真剣な表情で取り組んでいる。費用は一般社団法人「中国建設弘済会」の助成金を申請しその交付金と花会議の予算から充当していたが、交付金が終了してからは、費用全額を市から助成金で継続している。寄せ植え教室は高学年に限定して行っているが、毎年継続して行うのが望ましく、予算確保に努める必要がある。</p> <p>講師、スタッフに対して何らかの労に報いることを考える必要がある。(例：交通費)</p>	時期	庭数	実数	実数計	経済効果(概算)	2011年 春秋	11	600人	4,300人	645万円～860万円	2012年 春秋	26	4,000人	5,900人	885万円～1,180万円	2013年 春秋	30	7,600人	10,200人	1,530万円～2,040万円	2014年 春秋	34	7,000人	11,000人	1,650万円～2,200万円	2015年 春秋	38	7,400人	11,800人	1,770万円～2,360万円	2016年 春秋	33	7,500人	10,750人	1,610万円～2,150万円	合計	22	3,250人	53,950人	8,090万円～10,790万円	実施年	回数	人数	費用	2011	0	0	花会議	2012	1	54	市の助成金	2013	12	307	市の助成金	2014	16	390	市の助成金	2015	15	383	市の助成金	2016	14	369	市の助成金	合計	58	1503	市の助成金	<p>《ハズツアー》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年</th> <th>台数</th> <th>人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013年</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>2014年</td> <td>20台</td> <td>449人</td> </tr> <tr> <td>2015年</td> <td>30台</td> <td>831人</td> </tr> <tr> <td>2016年</td> <td>46台</td> <td>1367人</td> </tr> </tbody> </table> <p>● 船市館からの多くの英語の声を分析してみると、人気の場所は・・・ ● 多様な庭に魅力 ● 庭主のとてもなしの魅力 ● 人情の町庄原の魅力 ● などつかしい自然の魅力 ● などがミックスし現代人が求める「癒のふるさと」としての魅力がここ庄原に存在しているように感じられる。</p>	年	台数	人数	2013年	—	—	2014年	20台	449人	2015年	30台	831人	2016年	46台	1367人
時期	庭数	実数	実数計	経済効果(概算)																																																																																					
2011年 春秋	11	600人	4,300人	645万円～860万円																																																																																					
2012年 春秋	26	4,000人	5,900人	885万円～1,180万円																																																																																					
2013年 春秋	30	7,600人	10,200人	1,530万円～2,040万円																																																																																					
2014年 春秋	34	7,000人	11,000人	1,650万円～2,200万円																																																																																					
2015年 春秋	38	7,400人	11,800人	1,770万円～2,360万円																																																																																					
2016年 春秋	33	7,500人	10,750人	1,610万円～2,150万円																																																																																					
合計	22	3,250人	53,950人	8,090万円～10,790万円																																																																																					
実施年	回数	人数	費用																																																																																						
2011	0	0	花会議																																																																																						
2012	1	54	市の助成金																																																																																						
2013	12	307	市の助成金																																																																																						
2014	16	390	市の助成金																																																																																						
2015	15	383	市の助成金																																																																																						
2016	14	369	市の助成金																																																																																						
合計	58	1503	市の助成金																																																																																						
年	台数	人数																																																																																							
2013年	—	—																																																																																							
2014年	20台	449人																																																																																							
2015年	30台	831人																																																																																							
2016年	46台	1367人																																																																																							
2 寄せ植えづくり (小・中学校)	<p>《成果》 予算も限られており、小さな活動であるが、子どもたちにとっては貴重な経験であり、感謝の手紙も寄せられている。(涙のふるさとづくり)</p> <p>花の力によって子どもたちの健全な心を育む「情操教育」として効果が期待できる。(園芸福祉活動)</p> <p>ガーデンニングコンテストには子どもたちのハンキングの出展が多数寄せられ、他市にはない庄原市の取り組みに高い評価が寄せられている。(花のまち庄原のイメージづくり)</p>	<p>寄せ植え教室の講師、スタッフには相当の時間的、体力的な負担がある。しかし、子どもも真剣な表情で取り組んでいる。費用は一般社団法人「中国建設弘済会」の助成金を申請しその交付金と花会議の予算から充当していたが、交付金が終了してからは、費用全額を市から助成金で継続している。寄せ植え教室は高学年に限定して行っているが、毎年継続して行うのが望ましく、予算確保に努める必要がある。</p> <p>講師、スタッフに対して何らかの労に報いることを考える必要がある。(例：交通費)</p>	<p>しゅうばら花会議の結成に至る経緯は、20数年前、当時庄原中学校の荒廃地に花の力をを用いて非行防止・健全育成を図ろうとして本町女性会が「花いっぴい運動」を起こしたことに始まる。この運動は現在も続いていてるが、さらにもうひとつの運動を広げて庄原市全体を元気にしたい、としてみなで取り組むようになった。花会議の目的は、観光目当てではなく、花の力を、効用を教育行政、福祉行政の中に展開し、ゆくゆくは「庄原市は花や緑のまち」として「観光・教育・福祉のまち」として他に例を見ない町」となることを願っている。これからの手段として、学校での「寄せ植え教室」介護施設での花壇づくり・寄せ植えづくり、掘削区等での花の活動をしみに展開している。</p>																																																																																						
3 花壇・寄せ植えづくり (自治振興区・自治会等)	<p>《実施回数・実施人数》</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施年</th> <th>回数</th> <th>人数</th> <th>費用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2011</td> <td>5</td> <td>65</td> <td>それぞれの団体負担</td> </tr> <tr> <td>2012</td> <td>17</td> <td>420</td> <td>それぞれの団体負担</td> </tr> <tr> <td>2013</td> <td>11</td> <td>207</td> <td>それぞれの団体負担</td> </tr> <tr> <td>2014</td> <td>12</td> <td>256</td> <td>それぞれの団体負担</td> </tr> <tr> <td>2015</td> <td>17</td> <td>426</td> <td>それぞれの団体負担</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>20</td> <td>466</td> <td>それぞれの団体負担</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>82</td> <td>1840</td> <td>それぞれの団体負担</td> </tr> </tbody> </table>	実施年	回数	人数	費用	2011	5	65	それぞれの団体負担	2012	17	420	それぞれの団体負担	2013	11	207	それぞれの団体負担	2014	12	256	それぞれの団体負担	2015	17	426	それぞれの団体負担	2016	20	466	それぞれの団体負担	合計	82	1840	それぞれの団体負担	<p>しゅうばら花会議の結成に至る経緯は、20数年前、当時庄原中学校の荒廃地に花の力をを用いて非行防止・健全育成を図ろうとして本町女性会が「花いっぴい運動」を起こしたことに始まる。この運動は現在も続いていてるが、さらにもうひとつの運動を広げて庄原市全体を元気にしたい、としてみなで取り組むようになった。花会議の目的は、観光目当てではなく、花の力を、効用を教育行政、福祉行政の中に展開し、ゆくゆくは「庄原市は花や緑のまち」として「観光・教育・福祉のまち」として他に例を見ない町」となることを願っている。これからの手段として、学校での「寄せ植え教室」介護施設での花壇づくり・寄せ植えづくり、掘削区等での花の活動をしみに展開している。</p>	<p>しゅうばら花会議の結成に至る経緯は、20数年前、当時庄原中学校の荒廃地に花の力をを用いて非行防止・健全育成を図ろうとして本町女性会が「花いっぴい運動」を起こしたことに始まる。この運動は現在も続いていてるが、さらにもうひとつの運動を広げて庄原市全体を元気にしたい、としてみなで取り組むようになった。花会議の目的は、観光目当てではなく、花の力を、効用を教育行政、福祉行政の中に展開し、ゆくゆくは「庄原市は花や緑のまち」として「観光・教育・福祉のまち」として他に例を見ない町」となることを願っている。これからの手段として、学校での「寄せ植え教室」介護施設での花壇づくり・寄せ植えづくり、掘削区等での花の活動をしみに展開している。</p>																																																						
実施年	回数	人数	費用																																																																																						
2011	5	65	それぞれの団体負担																																																																																						
2012	17	420	それぞれの団体負担																																																																																						
2013	11	207	それぞれの団体負担																																																																																						
2014	12	256	それぞれの団体負担																																																																																						
2015	17	426	それぞれの団体負担																																																																																						
2016	20	466	それぞれの団体負担																																																																																						
合計	82	1840	それぞれの団体負担																																																																																						

主 な 活 動	活 動 状 況 と 成 果	課 題	備 考
<p>4 花 壇 づ く くり 寄 せ 植 え づ く くり (高 齢 者 福 祉 施 設)</p>	<p>● 2015 年 度 は 介 護 施 設 へ の 活 動 を 行 っ た。 ▲、西 城 町 ・ ・ 「せ せ ら ぎ」 ・ ・ 花 壇 づ く くり ▲、西 城 町 ・ ・ 「萌」 ・ ・ ・ ・ ・ 寄 せ 植 え づ く くり ▲、西 城 町 ・ ・ 「愛 華 苑」 ・ ・ ・ ・ 寄 せ 植 え づ く くり ▲、尾 引 町 ・ ・ 「相 扶 園」 ・ ・ ・ ・ 寄 せ 植 え づ く くり</p> <p>《成 果》 花 壇 は、地 域 の 住 民 か ら 好 評 を 得 て い る。寄 せ 植 え づ く くり は、お 年 寄 り に と っ て、「世 界 に 一 つ の 寄 せ 植 え」と の 喜 び が 大 き く、自 宅 に 持 っ て 帰 り た い と の 声 に、関 係 者 み な、う れ し さ と、花 の 持 っ 方、園 芸 療 法 ・ 園 芸 福 祉 を あ ら た め て 感 じ る こ と が で き た。</p> <p>せ せ ら ぎ の 花 壇 づ く くり 愛 華 苑 の 寄 せ 植 え づ く くり</p>  	<p>こ れ ら の 費 用 は、一 般 社 団 法 人 「中 国 建 設 共 済 会」 の 助 成 金 や 協 力 者 の 支 援 に よ り 行 っ た が、助 成 金 は 継 続 で き な い と の こ と で、今 後 の 展 開 を 検 討 す る 必 要 が あ る。</p>	
<p>5 ガーデニングコンテスト</p>	<p>毎 年 秋 に 開 催 し て い る ガーデニングコンテストは、会場を市役所からまちなか広場に移動し、当初集客に不安があったが、オープンガーデンに伴うフットパスのコースに組み入れられ、三軒茶屋の充実によって定着化してきている。</p> <p>《成 果》 2011 年 か ら 開 催 を 始 め た ガーデニングコンテストは、オープンガーデンとともに、庄原市の観光活性化のひとつのきっかけとなったと評価している。 市の主催する「秋のガーデンフェスティバル」とコラボし集客に寄与している。 当初は大人の作品の展示・コンテストだけであったが、最近では小・中・高生の作品が多く、他市にはない取り組みに将来への期待が高い。</p> 	<p>近 年、一 般 の 参 加 者 が 少 な く、中 学 生、高 校 生 の 出 品 が 多 く な っ て き て い る た め、コンテスト自体のレベルの低下、華やかさがなくなっている。</p>	

世界的な庭園デザイナー石原氏の協力により、まちなか広場に「さとやまの暮らし」、備北丘陵公園に「備北緑風庭」が造られたが、しよらばら花会議の会員が主体となつて造園に協力した。

6 庭園づくりへの参画

《成果》

石原氏は、英国での庭園コンテストに最高賞を受賞するなどし、日本でも有名人としてマスコミに取り上げられていた。
幸いに当市の「ふるさと大使」を引き受けていただき、庄原のイメージアップにつながっているが、なにより、石原氏の手がけた庭園が当市に2か所あるということは、当市の大きな強みとなっている。



主 な 活 動

活 動 状 況 と 成 果

備 考

7 フ ッ ト パ ス

オープンガーデンは車で回っていたという認識で開催したが、来訪者のなかには、ゆっくり歩いて回りたいとのニーズがあることに気がつき、旧市街地の数か所の庭を選定するとともに店舗等の関係者の協力を求めて、街ごとと見ていただく「フットパス」として開催した。

《成果》

今まで土曜、日曜日の旧市街地は人通りが極めて少ない状態であったが、一見して観光客とわかる人々が往来し市民が驚くサブライズとなった。



- ① フットパスの先進地の情報を取り入れ、既存コースの整備並びに魅力ある新設のコースを設定し集客に努める必要がある。
- ② 必要経費の捻出、予算措置も検討する必要がある。

- 《来訪者の声》
- 庄原の町は昭和の香りのする町
- 街中の「小路」が非常に魅力がある。

8 パネル展の開催

オープンガーデンを広くPRするために全庭の写真パネル(A1サイズ)及び展示用三脚(自費)を制作し、各所で展示会を開催した。

《成果》

市民並びにオープンガーデン来訪者等から、「庄原市の新たな取り組みは素晴らしい。ずっと続けて欲しい」との高い評価をいただいた。展示会場の責任者からも感謝の言葉をいただいた。



市内の飲食店から庭の写真を飾らせていただきたたいとの要望があり、前向きに検討中。
今後どのように市民への情報を提供し、かつオープンガーデンの集客に活用できるか検討が必要である。

庭主並びに会員の花づくり、庭づくりのレベルアップとモチベーションを高めるためにオープンガーデン先進地の視察研修を行っている。

年	行き先	人数	費用
2011	三田市	42	全額自己負担
2012	萩市・三木市	61	
2013	吉和町	41	
2014	松江市	24	
2015	善通寺市	30	
2016	北海道	20	

9 視察・研修

《成果》

見聞を広めることにより、現代人の求める花づくり、庭づくりが発見できるとともに、自分自身の固定観念の打破に役立ち、魅力ある庭園づくりの励みになっている。また会員同士の絆づくりにも役立っている。



視察研修の費用は現在、バス代金を含めて参加者の自己負担としているが、庭主の参加率を上げるために、バス代金の一部を予算から支出できないか検討が必要。
(庭主の中には、「参加したいが花づくり庭づくりの費用もかかり、視察研修までは・・・」との声もある)

《出張講演》

特異なもののみ

《視察団受け入れ》

年	対 象
2011	チャレンジトーク
2012	ライオンズクラブ
2013	庄原ロータリークラブ
	庄原市企業人経営者推進連絡協議会
2014	Vハート広島北部
	広島県地域女性団体連絡協議会65周年大会
2015	庄原商工会議所
	野村証券

新聞、テレビ、インターネット等マスメディアの発達により、わたしたちの活動が予想しない速度で広範囲に伝わっている。
花による町の活性化を図る行政、民間の団体の視察団の訪問や講師派遣の要請もあり、しようばら花会議はそうした要望に快く応じてノウハウを提供している。
わたしたちは、「花のまち庄原」を目指すとともに「花の国ジパング」の提唱を考えている。

10 視察団の受け入れ・各種団体の講演会参加



ジパング：マルコポーロの「東方異聞録」には、日本のことをジパングと記述されており、この語から英語のジパングとなった。

主 な 活 動

活 動 状 況 と 成 果

課 題

備 考

11 調 査 ・ 提 言

桜の名所100選「上野池公園」等の活性化を図っている「上野池公園活性化プロジェクト」から、公園内の植栽について調査・提言を求められ、花会議の役員によって現地での調査を行うとともに提言書を作成し提出した。



<p>12 「園芸福祉士」資格取得</p>	<p>NPO法人「日本園芸福祉普及協会」～理事長は広島国際大学の吉長成恭。園芸福祉とは、多くの仲間を作り、それらが楽しい園芸活動をするることによって参加者は当然、地域も元気になる思想。そのリーダー役を園芸福祉士という。園芸活動を通じて病気を治す園芸療法よりも、ゆるやかに幅広い活動を行う。(例：町の花いっぱい運動、介護施設での花の活動等)</p> <p>《成果》</p> <p>4 日間の受講と全国一斉試験により「しよらばら花会議」の会員2名が資格を取得した。それらが中心となって、介護施設での寄せ植えづくり、西城病院の花壇づくりを行なった。資格取得が大きくなってきている。</p> 	<p>受講費用が一人 36,600 円かかり、個人の負担が大きい。隣接する市では、30,000 円の助成を行っている例もある。</p> <p>この協会の立ち上げは東京農大の進士氏は、福井県立大学の学長</p>
<p>13 表彰</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 2014年・・・いきいき地域づくり賞・・・広島県知事 ● 2015年・・・国土交通大臣賞・・・「緑の愛護のつどい」 ● 2015年・・・社会安全貢献賞・・・警察庁・全国防犯協会連合会 <p>《成果》</p> <p>受賞は、しよらばら花会議のみの力ではなく、行政、丘陵公園、地域住民などの協力が相まっての受賞であり、こうした積み重ねが原市を元気にする基となるものと思われる。</p> 	

資料

＜平成27年しゅうばら花会議会計収支決算書＞

平成27年1月1日から平成27年12月31日

収入の部

項目	予算額	決算額	差引	備考
会費収入	119,000	127,000	8,000	会員127名×1,000円
	0	6,000	6,000	平成26年個人会員
	0	1,000	1,000	平成28年個人会員
	90,000	78,000	△12,000	賛助会員26社×3,000円
	0	3,000	3,000	平成26年賛助会員
広告収入	100,000	69,000	△31,000	春、秋オープンガーデン広告料
	0	3,000	3,000	平成26年秋広告料
サポーター収入	110,000	24,000	△86,000	500円×48枚
市負担金	2,500,000	2,500,000	0	市からの助成金
弘済会助成金	0	300,000	300,000	平成26年分
研修参加者負担金	320,000	236,000	△84,000	参加費一人8,000円負担
繰越金	197,626	197,626	0	平成26年繰越金
雑収入	70,000	31,146	△38,854	広告料、愛賞金など
合計	3,506,626	3,575,772	69,146	

支出の部

項目	科目	予算額	決算額	差引	備考	
事務一般経費	通信費	45,000	50,102	5,102	会報、案内文書発送費	
	ポラテンティア保険	35,700	37,500	1,800	300円×125人	
	消耗品費	20,000	13,725	△6,275		
	ﾌﾗｯｸﾞｰﾛｰﾄﾞ負担金	21,000	7,000	△14,000		
	事務委託費	150,000	150,000	0	庄原市観光協会	
	小計	271,700	258,327	△13,373		
	オープンガーデン経費	プレート製作費	40,000	0	△40,000	
		三角旗	33,000	0	△33,000	
		のぼり旗	140,000	135,000	△5,000	50枚×2,700円
		広告重伝費	250,000	216,000	△34,000	
オープンガーデン備品		30,000	0	△30,000		
がトマップ製作費		800,000	711,760	△88,240	マップ印刷	
駐車場信用謝礼		45,000	54,000	9,000	デザイン料	
通信費		224,000	282,790	58,790		
アンケート景品		30,000	43,104	13,104		
小計		1,942,000	1,716,166	△225,834		
視察研修ツアー	バスツアー代	320,000	270,046	△49,954	参加者自己負担	
	通信費	11,200	1,470	△9,730		
	雑費	0	5,000	5,000		
	小計	331,000	276,516	△54,484		
	消耗品費	20,000	0	△20,000		
ガーデンングコンテスト	会場設営撤去費用	300,000	299,992	△8		
	式典費用	100,000	105,498	5,498	副賞、賞状	
	小計	420,000	405,490	△14,510		
	材料費	320,000	336,027	16,027	小学校寄せ植え材料費	
	26年弘済会事業	0	93,010	93,010	ﾌｯﾄﾊﾞｽ寄せ植え	
ガーデンング講習	27年弘済会事業	0	88,160	88,160		
	小計	320,000	517,197	197,197		
	デザイン費	50,000	0	△50,000		
	修繕費	20,000	0	△20,000		
	小計	70,000	0	△70,000		
雑費	雑費	45,000	28,635	△16,365	花会議総会装飾材料	
	小計	45,000	28,635	△16,365		
予備費	予備費	106,726	79,153	△27,573	実業高校花壇整備等	
	小計	106,726	79,153	△27,573		
合計	計	3,506,626	3,281,484	△225,142		
				294,288	次年への繰越金	

2016年春オープンガーデン「アンケータ等」の結果（一部紹介）

※ 下線は今後の課題

- 1 とにかく感動です。よくそこそこの出来栄な一。
- 2 ボランティアで成り立っているようですが、少しは経費を出してあげて欲しいと思います。
- 3 花は心を豊かにしてくれるので、今後続けてあげてほしいです。
- 4 ところも素敵な日になりました。感謝です。
- 5 庭の方が皆さんとても親切でした。楽しかったです。
- 6 せっかく行って、刈り取りがない所もあり、それが残念でした。
- 7 自然と組み合わせてとてもメルヘンチックで楽しかったです。
- 8 毎年の進歩がすごい！！
- 9 夢見ごちでした。
- 10 こんなお庭に住みたい。
- 11 防虫トラベルの添乗員です。また秋に来ます。
- 12 マップにルートや所要時間を入れては、ルートに矢印あるいはエリアごとのマップを作成しては。
- 13 当家の方がとても親切、笑顔がステキでした。
- 14 山野草、ハラとてもきれいです。
- 15 お家の方がお花を愛する気持ちが伝わって、私も家の庭をきれいにします。
- 16 オープンガーデンだけでなく、里山が美しいです。
- 17 また来年も来ます。時間がたりない
- 18 しょうばら花会観・・・パンザイ・・・素晴らしい、感動しました。
- 19 来年は郊外中心に回ります。満喫した時間をありがとうございます。
- 20 四季が楽しめるよう権えがありました。
- 21 雨にも負けて来ただけがありました。
- 22 次にどんな花が見れるか楽しみです。
- 23 たまたまネットで知りました。もっと早くから来てみればよかった。
- 24 どの庭も個性があり、見ごたえがありました。来年も楽しみです。
- 25 創作される方の心ゆたかさが伝わってきます。毎回大変ですが、これからも頑張ってください。
- 26 毎年、どんなお庭になっっているか楽しみです。
- 27 毎年、どんな名物ガイドさんのユニークな案内に感謝します。
- 28 短い時間も迎えてくださり感謝します。
- 29 ゆっくり庭の方と話せてよかった。
- 30 一枚物のハンフレッツは送られてきたが、正式のものを送って欲しい。
- 31 花や木の名前を書いてほしい。（丘陵公園）
- 32 毎年2回来ています。ありがとうございます。
- 33 工夫がいろいろ、すごいです。
- 34 とても穏やかに過ごしました。
- 35 大変親切にもなって下さりました。
- 36 きれいな花を、より一層きれいに植えて、芸術的でよかった。
- 37 ケーレイ！！ また来年母ときます。
- 38 どの庭でも気持ちよく接して下さいます。
- 39 ガーデンの方が親切でやさしかったです。
- 40 どの庭の方も暖かく迎えて下さり素晴らしいと思つた。
- 41 色々な工夫がされていくととても楽しいです。
- 42 夢があり楽しかったです。
- 43 小屋のある庭があり、庭つってのんびりすると、とても心地良かったです。
- 44 花の名前が覚えられやすかったです。
- 45 とても素晴らしい企画ですね。
- 46 庄原すばらしい！！
- 47 とても満足・・・いややれませんでした。
- 48 毎年春と秋に夫婦で参加しています。ガーデニングの参考にさせていただきます。
- 49 いやいや、だだみとれるばかり・・・ありがとうございました。

- 50 どの庭も個性があり、素晴らしい。励みになります。ファイト一类
- 51 ジャーマンアイリスの魅力に酔いれました。奥様やお孫さんにとってもよく案内してもらいました。
- 52 ジャーマンアイリス30年の努力が実り感動でした。ほくちゃんのお手伝い・・・グッド！
- 53 花の育て方などいろいろ教えていただき、花の種までいただきました。ゆりの木を初めて見ました。
- 54 毎回三上敬枝庭に寄せていただき、楽しみにしているお庭です。心優しい気持ちになりました。
- 55 一番驚いたことは、個人の方が、休みの日にもかかわらず公開し、説明までされている。
- 56 毎年来ていますが、故郷へ帰った気分になります。
- 57 どの庭も良くもなっていて、庭主さんの庭を愛しておられる思いがひしひし伝わってきました。
- 58 花の育て方や手入れの仕方など、各庭の人のやさしさにうれしくなりました。
- 59 里山屋敷の中が季節ごとに変わって良かった。なつかしいです。
- 60 丘陵公園でのお接待のお茶と漬物やタケノコがとてもおいしかったです。
- 61 「ノラの家」すばらしい！！感動しました。わが家の庭も頑張ってください。
- 62 どの庭も違うコンセプトで、庭主さんの個性、こだわり、世界観がいろいろあります。
- 63 ハンフレッツなどでいただけるのかわからず苦しかったです。
- 64 平日のオープンも希望します。
- 65 白馬庭はファミリー感いっぱい良かったです。自分の庭づくりに参考にになります。
- 66 ハラがとても美しい。1時間半のドライブをしていく価値がありました。
- 67 もっとしっかりと宣伝して皆さんに見てもらわれたいと思う。
- 68 手間代（募金箱）でもあったらと思う。
- 69 毎回来る日が遠いので、ちがう花にあえて楽しいです。我が家の恒例の行事になっています。
- 70 宮本様の庭園・・・すみずみまで手入れが行き届き・・・旧友と共に心ゆくまで堪能させていただきます。
- 71 公共の施設より手が込み、キレイで見ごたえがありました。奥様の優しいおもてなしに幸せな気分になりました。
- 72 どの家庭も「お花大好き」がうかがえました・・・雇い人の証です。
- 73 広い地域にも関わらず庭主さんたちの協力が良く、他県ではない楽しい雰囲気があります。
- 74 毎年来ていますが、特に丘陵庭に来るのが楽しみで興味と話すことが楽しいです。
- 75 庄原市全体が花を入れていけると感じます。
- 76 花などの販売があればありがたいです。
- 77 もっと少し駐車場の案内がほしい。
- 78 無料であることに驚き、お金を払ってでもぜひ来たいと思うほどでも楽しかったです。
- 79 各庭にコンセプトや個性があって、同じ花があっても違ったように見えてくるところが楽しかったです。
- 80 緑に囲まれた田園風景の中で暮らすことに憧れを感じました。
- 81 エディブルフラワーの取り組みなど新しい試みにも驚きました。
- 82 素敵な古民家のたたずまい、絵のモチーフとして多くの方に描らせていただきカンゲキしています。
- 83 空気と景観、ご夫婦の接待に家庭的な心の安らぎをいただきました。忘れかけていた自分らしさを思い出した。
- 84 市役所イベントホールにもハンフレッツを置いていただきたい。
- 85 さごちゃんちの家、庭、下を見た田園風景は長生きをしようなほど、気分満足しました。
- 86 さごちゃんち、こんな山奥に素晴らしい景色。非常に驚きました。大事にしてほしい。
- 87 今の時代・・・このような企画すばらしいと思います。
- 88 無料が申し分ないので、少しでも入場料を取ってほしい。
- 89 手作りのピザ窯に感動しました。
- 90 さごちゃんち、景色、リフォームの家、やさしいご夫婦。すべてが無理なく、自然にとけこみ心が打たれた。
- 91 花の美しさとお花の対比、すばらしい。夢のようなお庭見ることがない。
- 92 多彩な色のお花と芳香にうっとり。丘島に来るときは必ず雪ります・・・名古屋市の万
- 93 線の子、山野草などのお話し、お井当のおいしかったこと。
- 94 街の方、道で会う方も挨拶してくださる印象がよかった。
- 95 生まれて初めて見る山野草の数々。名前の由来など丁寧な説明に感動。花への愛情を感じ心が洗われました。
- 96 料理もなかなか食べることができない野草が食べられおもしろい。温泉にも入れて良かった。また来たい。
- 97 エビネの花の色がいろいろ見れて楽しかった。
- 98 坂本庭、年々進北された感銘をうけました。五月人形のお飾りも素敵です。

素晴らしい、よかった、親切なものでなしに感謝・・・などは多数のため一部紹介にとどめました。